

交番等の再編整備による機能強化の推進について

1 背景

- 「次世代に向けた兵庫県警察の組織の在り方を考える懇話会」答申（平成 29 年）
不在交番の解消、機能の強化及び勤務員の業務負担の較差の是正を実現するため、業務負担の低い交番等を再編整備することで大規模化を図り、勤務員の集中的な運用と常に警戒力を保持できる体制の確立を図ることが必要
- 「警察署等再編整備計画」（令和 2 年）
警察署再編の状況や安全・安心の確保の観点も踏まえて、都市部を中心に業務負担の低い交番・駐在所を対象とした再編整備を検討

2 基本方針

人員と施設を集約し、交番の機能を強化

- 都市部を中心に 1 人勤務の交番を再編整備
- その他の交番は、移転・建替時に集約を検討
- 都市化進展等により警戒力の強化が必要な地域の駐在所は、交番に転換

3 効果

- 警察官が交番を不在にする時間の縮減
- 必要な場所に、より頻度の高いパトロールが可能
- 事件事故に対して迅速に複数の警察官が臨場し、よりの確な対応が可能
- 交番の計画的な施設整備の推進により、住民の利便性が向上

4 地域の不安解消に向けた治安対策

- 重点的なパトロールや要望把握活動の強化
- 機動パトロール隊等本部のパトカーによる警戒の強化

5 今後のスケジュール

- 令和 5 年度と令和 6 年度で重点的に取り組み、施設の建替を伴うものもあるため、概ね 5 年間で実施予定
- 令和 5 年度は、先行して早急に交番等の機能強化が必要な地域を選定し、地域住民等への説明を経て、順次対象交番等を再編整備